

桃山学園だより



桃山学園長 岩本 俊也

◆新年度を寄せて

今年はことのほか春の訪れが早く、学園の桜も散り新緑もまぶしい時期となりました。今年度も新たに職員を迎え、職員一同新たな気持ちで日々の支援に取り組んでいるところです。

ところで昨年は、当法人である社会福祉法人京都府社会福祉事業団が設立されて40周年を迎えました。それを機に各施設では各々40周年を記念事業として手作りのワークショップを開き、毎日食事時に使うトレーやランチョンマット、コースターと子どもたちの独創的な作品に仕上がりました。



桃山学園においては、今年10月に障害児入所施設（児童支援課）が開設して70周年を迎えます。昭和23年10月に京都市左京区に「八瀬学園」として発足して以来、知的障害児の入所施設として様々な取組、実践を重ねてきました。また、昭和35年には現在の地に移転し、児童養護施設と併設した総合施設としての桃山学園となり、今年4月で58年を迎えました。

桃山学園がめざす施設像である「子どもが育つ環境を整える施設」「子ども本人が望む暮らしを保障する施設」の実現に向けて、全職員で事業計画完遂に向けて取り組みます。

これからも皆様の暖かいご協力とご理解をお願い申し上げます。今年度もよろしくお願いたします。
(平成30年度の運営方針・事業計画、詳細はHPをご覧ください)

☆法人の基本理念

- 1 社会福祉施設としての公的責任を果たす施設であること
- 2 利用者の権利を擁護し、利用者本位の、利用者には選ばれる施設であること
- 3 地域福祉の向上のため、地域との連携を図り、地域から信頼され、地域に開かれた施設であること
- 4 主体性のある法人・施設をめざすこと

